

グループホーム部会		
部会設置の目的	グループホーム入居者の地域生活を豊かにするために情報共有や意見交換を行う ＊職員が孤立しないように、法人をこえた横のつながりづくり、顔の見える関係づくり ＊支援ノウハウの共有、職員のスキルアップ ＊グループホーム支援員の困りごとについても共有し、一緒に考える	
今年度の開催状況	＊幹事会…①4/30、②6/14、③8/23、④11/8、⑤12/6、⑥1/28 ＊部会…第1回：7/5、第2回：12/17 ＊ミニミニサロン…①10/25、②2/5	
今年度の課題認識・取組の意図	①グループホームおよび職員が孤立しないように、近隣ホームとの連携や協力体制等の関係性を築く ②来年度から義務化の「地域連携推進会議」について周知し、開催に向けて必要な整備を検討する 特に「地域の関係者」の参画必須を念頭に、地域（住民）とのつながりづくりについて話し合う	
今年度の取組内容	課題認識① グループホームおよび職員が孤立しないように、近隣ホームとの連携や協力体制等の関係性を築く ☞どんな取組をした？ ✓第1回部会「グループホーム職員同士で、共有・共感しながら語ろう！」を開催（7/5） ・32名参加 ・経験年数別、関心のあるテーマ別（余暇・利用者の高齢化・家族との関わり）に分かれて意見交換 …職員同士の顔を合わせて、お互いの状況や日頃の悩みなどについて話し合った ✓試行的に「ミニミニサロン」を開催（①10/25、②2/5） ・集合＋オンラインで途中入退出可とし、フリーテーマで職員同士が気軽に話せた ・第1回：5名参加…地域連携推進会議、近隣住民等とのつながり など ・第2回：9名参加…ケースの対応について、他スタッフとの連携、近隣住民等とのつながり など ✓「都筑区内グループホーム事業所一覧」を作成 ・掲載グループホーム：77カ所 ・定員、対応の障害種、職員の勤務形態、ホームの雰囲気等の項目 ・目次は地域防災拠点ごとに掲載 ☞ <u>防災訓練に参加できるように</u> 課題認識② 「地域連携推進会議」について周知し、開催に向けて必要な整備を検討する ☞どんな取組をした？ ✓第2回部会「どうする？地域連携推進会議！～地域とのつながりを考えよう！」を開催（12/17） ・32名参加 ・「地域連携推進会議」の厚労省資料、高齢福祉分野の「運営推進会議」について情報提供 ・地域とのつながりに関するエピソード紹介：自治会、防災訓練参加、地区社協への出前講座 ・地域とのつながりについてグループワーク …「地域連携推進会議」の開催については法人を越えて近くのグループホーム同士で開催できるとよい 自立支援協議会で開催のきっかけづくりができるとよい 等の意見	
今年度の成果と課題	成果	○ミニミニサロンを開催して職員同士で話せる場を提供できた ○地域連携推進会議の認知、また開催に向けての課題を共有できた ○「グループホーム事業所一覧」を作成 ○第2回部会はハイブリット方式の開催にして勤務調整が難しい方も参加することができた

今年度の 成果と課題	地域課題	●地域防災拠点訓練の参加できない要因の一つに職員の勤務体制があげられる ●地域住民のグループホームを知りたいとのニーズがあり、相互理解を促進していく必要性を感じる ●地域連携推進会議の開催に向けての周知や、参加依頼の方法を検討していく ●ヘルパー不足による、外出支援や居宅支援の導入が困難になる可能性がある ●利用者が参加できる余暇や居場所の情報提供やマッチングの仕組みづくりを構築する
	部会運営 の課題	●自立支援協議会の参加の位置づけが法人（事業所）によって異なり、参加する場合に勤務外と なってしまうために参加しづらい方もいる状況 ●地域連携推進会議についての周知、開催提案
他の部会に 聞きたい事／ 共通課題	●障害に対する理解の促進 ●地域（住民）とのつながりづくり ●ヘルパーの担い手不足 ●利用者が活用できる余暇や居場所	
今後の取組	☆部会にて地域連携推進会議の開催に向けての具体的な方法を検討、提案を行う ☆共通課題がある他部会との共催も考えていく ☆グループホーム職員のスキルアップ ☆地域防災拠点訓練の参加促進に向けた取り組み	